

平成 1 6 年 度

組 織 ・ 人 員 配 置 等
事 業 概 要

三重県科学技術振興センター
水 産 研 究 部

事務分掌表(H16.6.1)

部長 西村守央

(産業支援センターへ派遣)
 参事 池山洋久
 主査 前田 悟

総定員: 48名
 行政職: 9名
 研究職: 28名
 技能職: 11名

企 画 調 整 グ ル ー プ 11名

副参事(GL) 出口勝信
 主幹 岩城久仁雄
 主幹兼機関長 岡本楠清
 船長 松尾剛平
 主査 青木秀夫

- 1 職員の身分取り扱いに関する事
- 2 予算、庶務経理及び決算に関する事
- 3 財産の管理に関する事
- 4 調査研究に係る企画連絡調整に関する事
- 5 調査船の運営及び維持管理に関する事
- 6 その他のグループに所管しない事

水 産 資 源 育 成 グ ル ー プ 6名

総括研究員(GL) 林 政博
 主幹研究員 古野 優
 主任研究員 松田浩一

- 1 種苗生産技術の開発に係る調査研究に関する事
- 2 育種技術の開発に係る調査研究に関する事
- 3 魚類防疫対策に係る調査研究並びに指導に関する事
- 4 資源管理型魚類(定着性資源)に係る調査研究に関する事
- 5 産地市場自主衛生管理に関する事

資 源 開 発 管 理 グ ル ー プ 4名

総括研究員兼研究企画監(GL) 中島博司
 主幹研究員 山田浩且

- 1 漁海況予報技術の開発に関する事
- 2 資源管理型漁業(TAC対象種)に係る調査研究に関する事
- 3 資源増大技術開発に係る調査研究に関する事
- 4 資源管理型漁業(沿岸資源、TAE対象種)に係る調査研究に関する事
- 5 資源管理型漁業(高度回遊性魚類資源)に係る調査研究に関する事

水 圏 環 境 グ ル ー プ 4名

主幹研究員(GL) 広瀬和久

- 1 環境・生態系保全調査研究に関する事
- 2 内湾漁場環境の調査研究に関する事
- 3 有害赤潮(ヘテロカプサ等)の調査研究に関する事
- 4 有害プランクトン(貝毒)の調査研究に関する事
- 5 下痢性貝毒発生予察技術開発に関する事
- 6 内湾性藻場造成技術開発研究に関する事

地域結集型共同研究グループ	8名
---------------	----

総括研究員兼プロジェクト研究推進監 山形陽一
主任研究員 清水康弘

- 1 浚渫土を利用した干潟・浅場の造成技術に関する事
- 2 英虞湾におけるアマモ場造成技術に関する事
- 3 アコヤガイの生理と環境条件の関係に関する事
- 4 内湾底泥の物質循環に係る調査研究に関する事
- 5 環境モニタリング技術開発に関する事
- 6 真珠養殖負荷削減技術の開発に関する事
- 7 底質改善技術の開発に関する事

鈴鹿水産研究室

内湾生態系グループ	3名
-----------	----

主任研究員兼室長(GL) 津本欣吾
主任研究員 水野知巳

- 1 浅海域の生態系保全調査研究に関する事
- 2 内湾環境の保全に係る調査研究に関する事
- 3 貝類の増殖に係る調査研究に関する事

河川・浅海資源グループ	3名
-------------	----

主任研究員(GL) 藤田弘一

- 1 魚類の持続的生産に係る調査研究に関する事
- 2 黒ノリ養殖に係る調査研究に関する事
- 3 河川環境の保全に係る調査研究に関する事

尾鷲水産研究室

研究グループ	7名
--------	----

主幹研究員兼室長(GL) 紀平正人
主任研究員 土橋靖史

- 1 かんすい養殖の実用化に係る試験研究に関する事
- 2 魚類の防疫対策に係る調査研究に関する事
- 3 マハタ種苗量産化技術開発研究に関する事
- 4 漁場環境指標策定調査研究に関する事
- 5 深層水利用閉鎖養殖システム開発研究に関する事
- 6 自発摂餌システム導入による技術開発に関する事

予 算 総 括

事 業 名	予 算 額 (千円)
(1)水産研究部予算	145,330
水産研究部管理費	77,829
(1)水産研究部管理費	77,829
試験研究費	67,501
1.資源管理関係	20,704
(1)日本周辺高度回遊性魚類資源対策調査委託事業費	1,643
(2)資源評価調査事業費	15,900
(3)資源動向要因調査費	22,06
(4)伊勢湾底魚資源の回復に関する研究費	955
2.栽培漁業関係	7,681
(1)アワビ類の生産に影響を及ぼす環境要因に関する研究費	2,789
(2)イセエビ種苗量産技術開発費	3,452
(3)トラフグ資源増大技術開発事業費	1,440
3.漁海況関係	4,623
(1)資源管理に必要な情報の提供事業費	1,444
(2)IT活用型海洋構造調査事業費 (海洋構造変動パターン解析技術開発試験事業費)	3,179
4.増・養殖試験関係	24,334
(1)伊勢湾地域増養殖対策試験費	1,128
(2)魚類養殖試験費	1,382
(3)「三重のマハタ」高品質・早期安定種苗生産技術開発事業費	11,769
(4)深層水利用閉鎖養殖システム開発研究費	2,455
(5)養殖環境生態系改善調査費	3,000
(6)自発摂餌システムを用いた養殖魚の飼育技術開発費	3,100
(7)海底耕耘による底質変化が稚貝の生残、成長に及ぼす影響の把握	1,500
5.環境関係	10,159
(1)英虞湾漁場環境基礎調査費	1,773
(2)ヘテロカプサ赤潮の消長予測技術開発費	1,957
(3)下痢性貝毒による食中毒の未然防止のための予察技術開発費	2,764
(4)淡水魚類の多様性保全に関する研究	1,165
(5)農林水産バイオリサイクル研究費	2,500

参考：農水商工部等からの試験研究業務

事 業 名	予 算 額 (千円)
(2)農水商工部水産室予算	17,148
(1)多面的資源管理型漁業推進事業	2,391
(2)資源回復計画作成推進	514
(3)漁獲可能量の適切な管理推進事業費 漁獲管理情報処理システム整備事業費	181
県計画の作成	40
(4)消費者に安心される養殖水産物の生産体制整備事業費	1,112
(5)高品質アコヤ貝育成強化事業費	4,690
(6)産地市場自主衛生管理型漁業推進事業費	1,831
(7)美しい「みえのうみ」維持・創造プロジェクト費	5,000
(8)漁場環境保全推進調査事業費 貝毒成分等モニタリング事業費	360
漁場保全対策推進事業費	137
漁場環境指標策定調査事業費	892

(3)環境森林部水質改善室予算	9,862
(1)勢田川浄化に関する生物調査費	9,862

(4)科学技術振興センター予算	
(1)共同研究事業費(全体予算額) 閉鎖性海域の環境創生プロジェクト研究事業費	39,177
地域水産資源の有効活用研究事業費	2,788
(2)特定プロジェクト研究費(全体予算額) ホテル厨芥等の養殖魚飼料利用技術に関する研究費	2,948
建設廃材リサイクル技術研究開発事業費	3,600
(3)研究施設機器整備費(水産研究部の予算額) 施設整備費	2,272
機器整備費	2,807

事業概要

事業名	予算額	事業概要																																				
<p>1 総務関係 (1)水産研究部予算 水産研究部管理費</p>	<p>(千円) 77,829</p>	<p>水産研究部の維持管理費，調査船の中間検査費等。(県単)</p> <p>【調査船】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">項目 船名</th> <th style="text-align: center;">船質</th> <th style="text-align: center;">トン数</th> <th style="text-align: center;">馬力数</th> <th style="text-align: center;">進水年月</th> <th style="text-align: center;">用途</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">あさま</td> <td style="text-align: center;">軽合金</td> <td style="text-align: center;">79.0</td> <td style="text-align: center;">D 400</td> <td style="text-align: center;">H14.3</td> <td style="text-align: center;">調査研究</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">小大勢</td> <td style="text-align: center;">F.R.P</td> <td style="text-align: center;">1.1</td> <td style="text-align: center;">D 42</td> <td style="text-align: center;">H4.8</td> <td style="text-align: center;">あさま通船 雑作業</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">まつかぜ</td> <td style="text-align: center;">"</td> <td style="text-align: center;">1.3</td> <td style="text-align: center;">外 30</td> <td style="text-align: center;">H11.3</td> <td style="text-align: center;">養殖作業 湾内観測</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">れいすい</td> <td style="text-align: center;">"</td> <td style="text-align: center;">2.6</td> <td style="text-align: center;">D 40</td> <td style="text-align: center;">S62.7</td> <td style="text-align: center;">沿岸観測</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">灘風</td> <td style="text-align: center;">"</td> <td style="text-align: center;">1.5</td> <td style="text-align: center;">D 35</td> <td style="text-align: center;">H14.3</td> <td style="text-align: center;">湾内観測 養殖作業</td> </tr> </tbody> </table>	項目 船名	船質	トン数	馬力数	進水年月	用途	あさま	軽合金	79.0	D 400	H14.3	調査研究	小大勢	F.R.P	1.1	D 42	H4.8	あさま通船 雑作業	まつかぜ	"	1.3	外 30	H11.3	養殖作業 湾内観測	れいすい	"	2.6	D 40	S62.7	沿岸観測	灘風	"	1.5	D 35	H14.3	湾内観測 養殖作業
項目 船名	船質	トン数	馬力数	進水年月	用途																																	
あさま	軽合金	79.0	D 400	H14.3	調査研究																																	
小大勢	F.R.P	1.1	D 42	H4.8	あさま通船 雑作業																																	
まつかぜ	"	1.3	外 30	H11.3	養殖作業 湾内観測																																	
れいすい	"	2.6	D 40	S62.7	沿岸観測																																	
灘風	"	1.5	D 35	H14.3	湾内観測 養殖作業																																	
<p>2 資源管理関係 (1)水産研究部予算 日本周辺高度回遊性 魚類資源対策調査委 託事業費 (基本事業：22404)</p>	<p>1,643</p>	<p>マグロ類やカツオなどの高度回遊性魚類について，国際的な資源管理体制の確立が必要となっている。そのため，国を中心とした全国組織のもとに，本県では県立水産高校と連携して，漁獲データや生物調査結果等の収集・解析を行う。 (水産研究部国庫委託試験研究費)</p>																																				
<p>資源評価調査事業費 (基本事業：22404)</p>	<p>15,900</p>	<p>イワシ類・アジ・サバ類・ブリ・マダイ・ヒラメ・スルメイカ・トラフグ・マアナゴ・シャコ等の資源量の評価を行い，適正利用を図るための基礎資料を収集する。 (水産研究部国庫委託試験研究費)</p> <p>(1) 生物情報収集調査， (2) 標本船調査， (3) 漁場一斉調査(モジャコ) (4) 沖合海洋観測等調査， (5) 新規加入量調査， (6) 魚種別系群判別会議</p>																																				
<p>資源動向要因調査費 (基本事業：22404)</p>	<p>2,206</p>	<p>マイワシ，サバ類などの水産重要種の稚仔魚期および加入後の生残に及ぼすカツオ類の食害の影響を評価する。 (水産研究部国庫委託試験研究費)</p>																																				

事業名	予算額	事業概要
伊勢湾底魚資源の回復に関する研究費 (基本事業：22404)	(千円) 955	伊勢湾沿岸の漁業を支える重要底魚資源，特に近年減少が著しいマアナゴ，シャコを対象に，湾内における生活史と其中で見られる生態的特性を把握するとともに，それらを踏まえた適正な資源管理手法を検討する。 (特定試験研究費；県単) (1) マアナゴの初期生態調査 (2) シャコの初期生態調査 (3) 生息環境調査 (4) 小型底曳き網による漁獲実態調査
(2)水産室予算		
多元的資源管理型漁業推進事業費	2,391	イカナゴ資源およびアナゴ籠漁業について量および質を一体とした資源管理を取り組むうえで必要とされる基礎的知見を収集する。 (水産室執行委任；国補1/2)
資源回復計画作成推進費	514	減少した水産資源の回復のための計画策定を行う。 (水産室執行委任；国補1/2)
3 栽培漁業関係		
(1)水産研究部予算		
アワビ類の生産に影響を及ぼす環境要因に関する研究費 (基本事業：22404)	2,798	アワビ類の資源変動機構，減少原因を明らかとし，有効な対応策を検討する。 (特定試験研究費；県単) (1) 沿岸岩礁域の水質などの環境調査 (2) 海藻類相の経年調査とアラメ類の生産量調査 (3) アワビ類の加入および生残状況の調査
イセエビ種苗量産技術開発費 (基本事業：22404)	3,452	本県沿岸漁業の重要種であるイセエビの増殖技術開発を目的に，イセエビ幼生の大量飼育技術の開発を行う。 (経常試験研究費；国補1/2) (1) 新餌料及び人工飼料の開発 (2) 飼育環境の解明 (3) 大量飼育システムの開発
トラフグ資源増大技術開発事業費 (基本事業：22404)	1,440	トラフグ種苗放流による資源の増大技術開発を行う。 (水産研究部国補経常試験研究費；国補1/2) (1) サイズ別放流試験 (2) 愛知，静岡，(独)栽培漁業部との共同放流試験 (3) 市場調査による放流魚の再捕率の把握
4 漁海況関係		
(1)水産研究部予算		
資源管理に必要な情報の提供事業費 (基本事業：22404)	1,444	本県沿岸の漁況及び海況を定期的に調査して，その情報を関係機関に広報し，資源管理の推進を図る (水産研究部国補経常試験研究費；国補1/2) (1) 漁海況情報の収集 (2) 漁海況情報の解析 (3) 漁海況情報の提供

事業名	予算額	事業概要
IT活用型海洋構造調査事業費(海洋構造変動パターン解析技術開発試験事業費) (基本事業：22404)	(千円) 3,179	熊野灘沿岸域における黒潮流路の変化と黒潮暖水波及との関連について、その変動機構の解明と海況予測の精度向上を図る。 (経常試験研究費；国補1/2+県費1,267) (1)水深別流向流速データの収集 (2)人工衛星情報の解析 (3)海況構造の迅速な把握
(2)水産室予算		
漁獲可能量の適切な管理推進事業費		
-1漁獲管理情報処理システム整備事業費	181	国連海洋法条約の批准により、排他的経済水域の設定並びにこれに伴う漁獲可能量(TAC)の決定及び漁獲量の管理が義務づけられたため、漁獲量を迅速かつ正確に把握する必要がある。このため、漁業協同組合等のコンピューターネットワークにより、漁獲量の必要な基礎資料、情報を収集し、行政機関等へ報告すると共に、資源の解析、評価を行い、適正な漁獲量管理に資する。 (水産室執行委任；国補1/2)
-2県計画の作成	40	三重県における漁獲可能量設定の計画作成を行う。 (水産室執行委任；国補1/2)
5 増・養殖試験関係		
(1)水産研究部予算		
伊勢湾地域増養殖対策試験費 (基本事業：22404)	1,128	ノリの色落ち是有明海において大きな問題となったが、伊勢湾でも栄養塩類の供給不足やプランクトンの発生によりノリの色落ちは大きな被害を与えている。海況とノリの色落ちの関係を明らかにするとともに、摘採後の実用的なノリの色落ち回復技術の開発を行う。 (水産研究部県単経常試験研究費) (1)漁場環境の変動とノリの色落ちに関する研究 (2)色落ちノリの色調回復技術の開発
魚類養殖試験費 (基本事業：22404)	1,382	魚類養殖業の経営安定化を図るため、次の試験を行う。 (水産研究部県単経常試験研究費) (1)マダイのエドワジェラ症対策試験
「三重のマハタ」高品質・早期安定種苗生産技術開発事業費 (基本事業：22404) (重点プログラム)	11,769	「三重のマハタ」を真の県の特産品とするために、種苗量産の安定化と高品質な(病気に強い、形がよい)種苗を生産するための技術開発を行う。 (特定試験研究費；県単) (1)生残率向上試験 (2)形態異常魚対策試験 (3)ウイルス性疾病(VNN)対策試験
深層水利用閉鎖養殖システム開発研究費 (基本事業：22404)	2,455	クエを対象魚種として循環濾過による養殖システムを開発し、深層水利用について技術的な検討を行う。 (特定試験研究費；県単)

事業名	予算額	事業概要
養殖環境生態系改善調査費 (基本事業：22404)	(千円) 3,000	養殖マダイに被害を及ぼす寄生虫の防除対策を講ずるため、飼育条件と寄生虫の寄生状況との関係を調査する。 (水産研究部国庫委託試験研究費)
自発摂餌システムを用いた養殖魚の飼育技術開発費 (基本事業：41205)	3,100	自発摂餌システムは魚の摂餌要求に合わせた給餌が可能であり、効率の良い残餌の少ない給餌ができると考えられることから、海面設置型自発摂餌給餌機の開発と、それを用いた飼育試験を実施し、自発摂餌システム実用化をめざした研究開発を行う。 (特定試験研究費；県単)
海底耕耘による底質変化が稚貝の生残、成長に及ぼす影響の把握(予定) (基本事業：41205)	1,500	海底耕耘を行った浅海域漁場と隣接する非改良漁場において、底質の差異及びそれに連動するアサリ稚貝の分布、生残成長状況を調査し、海底耕耘の効果を評価するとともに、稚貝の生残、成長が確保される漁場条件を見いだす。 (水産研究部国庫委託試験研究費)
(2)水産室予算		
消費者に安心される養殖水産物の生産体制整備事業費	1,112	医薬品及びワクチンの適正使用について指導するとともに、養殖衛生管理技術の普及、啓発を行う。また、疾病の監視及び発生時の対策を実施する。 (水産室執行委任；国補1/2)
高品質アコヤ貝育成強化事業費	4,690	高品質なアコヤ貝の育成および赤変化を伴う感染症対策に関する試験を行う。 (水産室執行委任；国補1/2) (1) 耐病性評価方法の検討 (2) 国内地方系統の貝の養殖特性調査 (3) 耐病性貝試作品の評価・生産 (4) 真珠生産試験 (5) 養殖技術の改善に関する試験
産地市場自主衛生管理型漁業推進事業費	1,831	水産物の食の安全・安心確保のため船上から荷捌き出荷までの衛生管理体制を確立する。 (水産室執行委任；県単) (1) 水産物の漁獲から市場での出荷までの細菌現状調査 (2) 産地市場における衛生管理型施設の有効性調査 (3) 魚体および浸漬水中の細菌の挙動に及ぼす温度(水温)に関する調査
美しい「みえのうみ」維持・創造プロジェクト費	5,000	水産資源として有用であるとともに、伊勢湾内の自然浄化の担い手として重要なアサリ、シジミ、ハマグリ資源について、主漁場周辺での生活史を把握するとともに、資源の維持、培養を図るための干潟、漁場造成のあり方を検討する。また、伊勢湾の貧酸素水塊シミュレーションモデルを構築し、貧酸素の軽減に必要な汚濁負荷削減量など環境目標値の設定に資する。 (水産室執行委任；県単) (1) 有用二枚貝類の資源加入機構に関する研究 (2) 貧酸素水塊形成シミュレーションモデルの構築

事業名	予算額	事業概要
6 環境関係	(千円)	
(1)水産研究部予算		
英虞湾漁場環境基礎調査費 (基本事業：22404)	1,773	英虞湾の水底質環境ならびに餌料プランクトンや赤潮プランクトンの消長等を調査し，英虞湾プランクトン速報として関係機関に情報提供するとともに，漁場環境の長期変動を捉える。 (水産研究部県単経常試験研究費)
ヘトカ ^サ 赤潮の消長予測技術開発費(予定) (基本事業：22404)	1,957	真珠養殖業に多大な被害を与えるヘテロカプサについて，プランクトンの増殖活性を指標とした短期的な赤潮消長予測の可能性を検討する。 (水産研究部国庫委託試験研究費)
下痢性貝毒による食中毒の未然発生防止のための予察技術開発費 (基本事業：32406) (重点プログラム)	2,764	人に下痢や嘔吐などを症状とする食中毒を引き起こす下痢性貝毒の発生予察技術を開発する。 (1)プランクトン毒素量の分析技術開発 (2)プランクトン毒素量と二枚貝毒化との関係解明 (食の安全安心確保事業費；県単)
淡水魚類の多様性保全に関する研究費 (基本事業：22404)	1,165	県内主要河川における淡水魚類の分布実態を把握するとともに，改修された河川の魚類相復元の可能性やブラックバスなどの外来魚が生態系に与える影響を明らかにし，多様な淡水魚類相の保全手法を見出す。 (水産研究部県単経常試験研究費) (1)淡水魚類分布調査 (2)淡水魚類相の復元に関する研究 (3)外来魚が生態系に与える影響に関する研究
農林水産バイオリサイクル研究費 (基本事業：22404)		真珠養殖において廃棄処分されるアコヤガイ軟体部の有効利用を図るため，アコヤガイ軟体部から化粧品等の原材料に用いられるセラミドの効率的な抽出技術の開発を行う。 (水産研究部国庫委託試験研究費)
(2)水産室予算		
漁場環境保全推進事業費		
-1貝毒成分等モニタリング事業費	360	二枚貝の毒化状況と貝毒プランクトンの出現量をモニタリングし，出荷自主規制等の措置を講ずることで，貝毒被害を防止する。 (水産室執行委任；国補1/2)
-2漁場保全対策推進事業費	137	沿岸及び内水面の漁場を保全するため，漁場の監視，被害発生時の情報連絡等漁場監視体制を整備し，公害等による漁場被害の未然防止又は軽減を図るとともに，生物モニタリング調査を実施することにより，海域の富栄養化等長期的な変動についても把握に努める。 (水産室執行委任；国補1/2)
-3漁場環境指標策定調査事業費	892	底質と底生生物の関係を有機物質の面から調査し，周年底生生物が生息できる環境条件を明らかにする。この条件と各漁場における内湾度指数を考慮し，より実態に近い環境指標値の策定を行う。 (水産室執行委任；国補1/2)

事業名	予算額	事業概要
<p>(3)環境森林部 勢田川浄化に関する 生物調査費</p>	<p>(千円) 9,862</p>	<p>勢田川河口干潟において、二枚貝（アサリ）を活用した水質浄化機能の向上手法を検討する。 (環境森林部水質改善室執行委任；県単)</p> <p>(1) 干潟周辺環境調査 (2) アサリ天然資源動向調査 (3) 小規模放流試験</p>
<p>7 共同研究・プロジェクト研究関係 (4)科学技術振興センター-予算</p>		
<p>共同研究事業費 -1閉鎖性海域の環境創生プロジェクト研究事業費 (基本事業：41305)</p>	<p>全体 39,177 水産研究部 26,602</p>	<p>英虞湾の環境改善と新技術の創造を目的とした科学技術振興事業団の地域結集型共同研究事業「閉鎖性海域における環境創生プロジェクト事業」に参画し、英虞湾の自然浄化機能の向上と底質改善ならびに水質予報システムの構築に係る研究に産学官共同で取り組む。(共同研究事業費；県単)</p> <p>(1) 浚渫土を利用した干潟・浅場の設計造成技術の開発 (2) 細胞培養を利用したアマモ種苗量産と藻場造成技術の開発 (3) 底質改良技術の開発 (4) シミュレーションモデル開発のための海域環境調査(流動観測，栄養塩等調査) (5) 生態系モデルでの底質における物質循環モデルの開発 (6) 養殖適正量評価のためのアコヤガイ成長モデルの開発 (7) その他委託事業</p>
<p>-2地域水産資源の有効活用研究事業費 (基本事業：41104)</p>	<p>全体 2,788 水産研究部 245</p>	<p>真珠養殖業から排出されるアコヤ貝殻を有効利用するため、他の研究部及び三重大学に研究用のアコヤ貝殻及び貝肉を供給する。 (共同研究事業費；県単)</p>
<p>特定プロジェクト外研究費 -1ホテル厨芥等の養殖漁業用飼料化による地域内循環システムに関する研究費 (基本事業：41104)</p>	<p>全体 2,948 水産研究部 1,400</p>	<p>伊勢志摩地域をモデル地区として、ホテル厨芥等（魚介類残さ）の魚類養殖用飼料化とこれを用いた生産魚の地域内消費による循環システムを確立するため、厨芥物混合飼料を用いたマダイ飼育試験を行い、その利用性を検討する。 (特定プロジェクト外研究事業費；県単)</p>
<p>-2建設廃材リサイクル技術研究開発事業費 (基本事業：41104)</p>	<p>全体 3,600 水産研究部 122</p>	<p>工業研究部が実施するコンクリート廃材を用いて作成した魚礁の海洋実験のための事前調査に参画し、関係機関との協議、実験海域の予備調査等を行う。 (特定プロジェクト外研究事業費；県単)</p>

事業名	予算額	事業概要
8 施設整備関係 <u>(5) 科学技術振興センター予算</u> 施設整備費 機器整備費	(千円) 水産研究部 2,272 2,807	施設の整備, 工事。 (研究施設機器整備費; 県単) 備品の更新, 整備。 (研究施設機器整備費; 県単)